

あ い さ つ

京都府高等学校体育連盟
会長 大溝 誠 則
(京都府立北嵯峨高等学校長)

平成28年度京都府高等学校体育連盟「高体連誌第56号」の発刊にあたり、ごあいさつ申し上げます。

まず、加盟校、各専門部の皆様の御支援・御協力の下、本年度を無事終えることができましたこと、誌面ではありますが、心からお礼申し上げます。

本年度も、本連盟では諸会議（理事・評議員会、専門委員長会議、中・高連携会議）と各種体育・スポーツ振興事業（選手派遣、大会開催、競技力向上、研究調査、広報、一般生徒対象）と、盛り沢山の事業を行ってまいりました。

とりわけ、岡山県を中心に開催された中国ブロックでの全国高等学校総合体育大会や冬季に行われた全国大会、全国定時制通信制体育大会、その他の体育大会において、団体種目では陸上競技、ウエイトリフティング女子競技の優勝を含め入賞数18、個人種目でも同じ競技である陸上競技、ウエイトリフティング女子競技の優勝を含め入賞数84となり、大いに活躍してくれました。また、都道府県対抗全国駅伝競走大会では男女とも高校生が活躍し、女子が優勝、男子が4位入賞という結果を残してくれました。

また、平成29年1月に富山県で開催されました全国高等学校体育連盟研究大会においては京都府立久美浜高等学校の小西鉄也教諭に「京都府のカヌー競技における選手確保と国際的チャレンジ -100年続けるために-」と題して競技力向上分科会で素晴らしい発表をしていただきました。

一方、平成32年度全国高等学校総合体育大会においては、同年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック大会の影響により、当該年度のインターハイ担当ブロックの「北関東4県」では、最大11競技しか開催できない状況であり、残り19競技の開催地については全国各地での分散開催の方向で調整が進んでいます。

例外的な分散開催のため、開催経費の確保が大きな課題となっていますが、今後各専門部におかれましては、事務局と連携を密にいただき、できる範囲で御協力いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、本連盟に対し御協力・御支援をいただいております関係のみなさまに重ねてお礼を申し上げまして、発刊のあいさつとさせていただきます。